

平成27年度決算

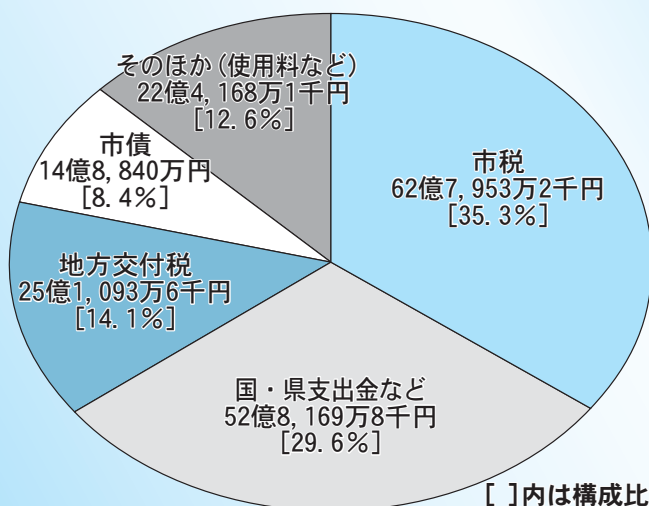
平成27年度の決算が9月定例市議会にて認定されました。
ここでは、みなさんに納めていただいた市税や国・県からの支出金などの収入をどのように使ったのかについてお知らせします。

問合せ 一般会計・特別会計について／財政課 (43) 1111 内線 252・FAX (43) 3783
水道事業会計について／水道管理課 (48) 0050・FAX (48) 0120

◆◆ 一般会計決算 ◆◆

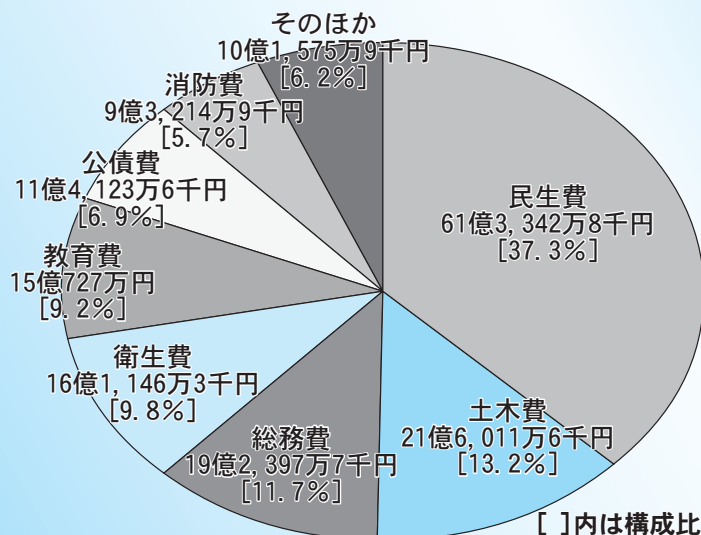
平成27年度一般会計決算は、歳入が178億224万7千円、歳出が164億2,539万8千円で、単純な差引き(形式収支)は13億7,684万9千円となりました。このうち、平成28年度に行う事業に充てる繰越金1億6,151万3千円を除いた決算剰余金(実質収支)は12億1,533万6千円となりました。

歳入(いただいたお金) 178億 224万7千円



▼歳入は対前年度比0・5%の増加
市税は固定資産税や軽自動車税が増加したものの、個人市民税や市たばこ税などが減少したことにより、わずかに減少しました。
しかし、地方交付税や地方消費税交付金の増加により、歳入全体としては、わずかに増加となりました。

歳出(使ったお金) 164億2,539万8千円



▼歳出は対前年度比3・0%の減少
総務費が県議会議員選挙などの選挙の実施により増加したほか、衛生費がし尿処理施設基幹的設備改良工事の実施により増加しました。
しかし、教育費における上高野小学校舎大規模改修工事・長倉小学校舎増築工事の終了や公債費(市債の償還金)の減少などにより、歳出全体としては減少となりました。

市民1人あたりは？

1人あたりの市税負担額は？
119,249円(A)

①と②の差額192,671円は、国・県支出金、使用料、市債などで賄っています。

1人あたりに使ったお金は？
311,920円(B)

たとえば、

民生費に	土木費に	総務費に
116,474円	41,021円	36,536円

(平成28年3月31日現在人口52,659人)

市税の状況

歳入では、みなさんに納めていただいた市税(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税)が、歳入全体の約35・3%と、大きな割合を占める大切な財源となっています。

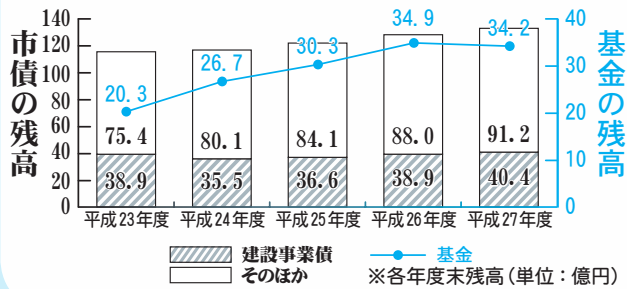
このうち、都市計画税は市街化区域内の土地や家屋に課税しているもので、主に下水道整備事業に充てています。引き続き、大切に使用させていただきます。

市債と基金の状況

市では、次世代への負担の先送りとならないよう、建設事業にかかる市債の新規発行を抑制しています。

また、今後、本格的に実施段階に入る大規模事業(幸手駅周辺の整備や道路、橋、公園などの公共施設の老朽化対策など)に備え、基金(貯金)への積立も積極的に行っています。

一般会計の市債・基金残高の推移



一般会計の主な事業と決算額

民生費(福祉に関する経費)

生活保護費の支給	11億4,765万円
障がい者への自立支援給付費の支給	7億6,472万円
子ども医療費の支給	1億5,546万円
重度心身障がい者への医療費の支給	1億3,021万円

土木費(道路、橋、公園などに関する経費)

市道の整備	6億8,749万円
公共下水道事業特別会計への繰出	5億7,212万円
道路の維持管理、改良	1億6,362万円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出	1億5,498万円

総務費(市民との協働、交通安全対策などに関する経費)

選挙(県議会議員・市議会議員・県知事・市長)の実施	5,694万円
市民との協働(協働事業推進協力報奨金、街路灯にかかる補助など)	4,325万円
交通安全対策	3,221万円

衛生費(保健、ごみ処理に関する経費)

ごみ処理やりサイクルの推進	6億2,203万円
各種検診、予防接種の実施	1億3,380万円

教育費(教育に関する経費)

私立幼稚園の保育料等軽減にかかる補助	1億827万円
市民文化体育館(アスカル幸手)の管理・運営	9,278万円
図書館の管理・運営	8,935万円
学校給食費にかかる補助	2,280万円

消防費(消防、救急、防災などに関する経費)

埼玉東部消防組合への負担金	8億2,172万円
防災、災害対策	6,404万円

そのほか(市債の償還、基金への積立などに関する経費)

市債の償還(借入金の返済)	11億4,124万円
基金への積立(貯金)	5億7,152万円

ここでは、平成27年度に実施した事業の一部を紹介しています。詳細については、「決算書」「主要施策成果表」をご覧ください。

市ホームページ(<http://www.city.satte.lg.jp/>)のほか、市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館本館で公開しています。

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	86億2,248万6千円	81億5,754万7千円
後期高齢者医療	4億7,915万5千円	4億7,556万7千円
介護保険	32億6,425万5千円	30億5,088万5千円
農業集落排水事業	3,033万5千円	2,817万1千円
公共下水道事業	14億2,294万3千円	13億1,405万円
幸手駅西口土地区画整理事業	2億1,067万6千円	2億240万2千円
水道事業	収入	支出
収益的収支	11億6,629万4千円	10億4,536万8千円
資本的収支	1億5,612万4千円	3億9,001万1千円

※資本的収入と資本的支出の差額については、企業内部に留保された資金(内部留保資金)により補てんしました。

健全化判断比率をお知らせします

～比率はすべて基準を下回っています～

健全化判断比率は、市の財政の健全度を判断するもので、それぞれに判断基準である早期健全化基準(〔〕内に表示)などが設けられています。早期健全化基準はいわゆる「イエローカード」で、これを上回ると早期健全化団体と位置付けられます。

実質赤字比率 -%〔13.31%〕

一般会計の赤字が一般会計の収入に比べ、どの程度かを表すもの。赤字ではないため、該当なし「-」としています。

連結実質赤字比率 -%〔18.31%〕

市のすべての会計を合算した場合の赤字の程度を表すもの。赤字ではないため、該当なし「-」としています。

実質公債費比率 4.2%〔25.00%〕

市債の返済額などの程度を表すもの。

将来負担比率 8.2%〔350.00%〕

今後返済する市債の残高など、将来支払う負債の程度を表すもの。